

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

1 事業名等(Plan 1)

事業名	浄化槽整備事業補助											
所属名	水道環境部下水道課普及グループ											
第七次総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	分野	5	上・下水道	基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る	施策	2	水洗化の普及
予算科目	4	2	1	清掃総務	費	42115	浄化槽設置整備	事業	費		事業	費
					費			事業			事業	
					費			事業			事業	
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市補助金交付規則、高山市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、高山市生活排水処理基本計画											
事業の実施主体	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 市以外→											
事業の実施方法	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 指定管理 <input type="radio"/> 業務委託 <input type="radio"/> 団体等補助 <input type="radio"/> その他→											

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	浄化槽整備地域に浄化槽を設置する者	受益者数	-	人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	生活排水による水質汚濁の進行を防止し、生活環境を保全する。			
概要	事業の実施手法、手順	浄化槽整備地域において浄化槽を設置する者に対する補助。			
概要	事業始期・終期	始期: 17年度から	終期: 26年度まで	設定なし	
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 国・県補助を受けていることから、補助事業の進行状況を適切に管理するため、浄化槽設置業者から、着工届を徴収するよう手順を改善した。				

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)		20,000	20,000	40,000	40,000	35,000	
総合計画計画額(計画額)		70,000	70,000	40,000	40,000	35,000	
財源	事業費	70,000	57,000	40,000			
	(計画・予算・見込・決算額)	決算・見込	31,094	36,196			
	国庫支出金	予算額	10,990	9,067	6,050		
		決算・見込	4,547	5,759			
	県支出金	予算額	10,990	9,067	6,050		
		決算・見込	4,549	5,759			
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
繰入	予算額						
	決算・見込						
一般財源	予算額	48,020	38,866	27,900			
	決算・見込	21,998	24,678				
H17国勢調査		96,231人	32,174世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価			
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位 %	-	-			
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位 円/人	323	376			
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位 円/世帯	966	1,125			
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位 円/人					
	1 その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位 円/人					
補助1件あたりコスト	単位 円/戸	971,688	1,131,125				

(成果面)

活動・成果指標	活動指標	指標名	浄化槽設置基数							資料・出展算出式	設置基数	単位	基
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度				
活動	目標値			39	39	34	34	29					
	実績値	32	32										
	達成率	-	-	0	0	0	0	0					
成果	目標値			39	39	34	34	29					
	実績値	32	32										
	達成率	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	浄化槽設置補助基数64基	
		事業費	受益者負担
67,290	(内容)	国補助金 10,306	千円
		県補助金 10,308	千円
46,676	(内容)	一般財源 46,676	千円

本年度	対象・手段	浄化槽設置補助基数39基	
		事業費	受益者負担
40,000	(内容)	国補助金 6,050	千円
		県補助金 6,050	千円
27,900	(内容)	一般財源 27,900	千円

(成果面)

進捗	項目	評価内容(算定式)				進捗率
		整備状況	整備見込	整備目標	単位	
本年度	整備状況	39	39	39	基	100.00
	決算見込	40,000	40,000	40,000	千円	
本年度までの累計	整備状況	27	175	175	基	15.4
	累計	26,303	180,000	180,000	千円	14.6
評価	事業の進捗率の考え方	H22から26年度までに175基の浄化槽設置補助を見込んでおり、これとH22年度からの累積補助基数との比を進捗率とする。				
	進捗結果・理由	<input type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 未達成 該当項目に「○」表示				

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	生活系排水による河川の水質汚濁の進行の防止と生活環境の改善を図るため、集合処理区域以外の地域の排水処理を行う浄化槽を整備することは非常に重要である。	判定 A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価 A
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	浄化槽の規模(人槽)による定額補助であり、現状を維持する。	減少 維持 1 増加	③成果面 拡大 維持 減少 O
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	浄化槽の規模(人槽)による定額補助であり、現状を維持する。	拡大 維持 1 減少	コスト・成果ポジション E 第3水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

5 今後の方向性(Action)

活動の方針	評価結果に対する改善提案 (下記チェック)					
	計画どおり	改善・継続	終期設定	休止	廃止	完了
家屋の建て替え、水周りの修繕に伴い浄化槽を設置するケースが多く、基本的には「待ち」の姿勢であったが、今後、広報等による制度の周知のほか、対象地区の戸別訪問などを行い、浄化槽の設置を促すよう活動する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
次年度実施方針	戸別訪問による補助制度の周知を次年度も進める。					

総合評価

コスト	成果	評価区分
中	中	III
「II」以上の水準に向けた改善が必要		
浄化槽の設置は下水道の計画区域外における生活環境の向上と流域の水質保全を図るため必要なものである。対象地区への周知・啓発を積極的に行うことにより早期の設置促進を図っていくことが必要である。		